

2017年10月27日

**アムンディ・ジャパン、東京理科大学と ESG 投資に関する共同研究成果を発表**

～「日本における ESG 投資のこれから」 シンポジウムのご案内～

**アムンディ・ジャパン株式会社**

アムンディ・ジャパン株式会社(東京都千代田区 代表取締役社長：ジュリアン・フォンテーヌ)は、学校法人東京理科大学(東京都新宿区 理事長：本山和夫) 総合研究院のもと双発研究部門と ESG 投資に関する共同研究の成果を発表いたします。

ESG 投資は環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)に対する企業の取り組み姿勢を判断材料とする責任投資ですが、アムンディは欧州で 1989 年に最初の責任投資ファンドを設定して以来、その運用資産残高は約 21 兆円(2017 年 6 月現在)、また国連責任投資原則(PRI)の設立時からの署名メンバーとして、PRI の年次評価調査では 3 期連続の最高位 A + 評価を獲得する等、同領域における世界的なリーダーです。

アムンディでは 2016 年 6 月より日本での取り組みとして、産学連携での研究に多くの実績があり、また ESG 投資の研究に積極的に取り組んでいる東京理科大学と共同研究を進めてきましたが、この度、その研究成果を発表するにあたり、ESG シンポジウムを開催いたします。

シンポジウムでは東京理科大学との共同研究発表の他、資金を提供する投資家と調達する企業が、共通の価値観と、中長期的な価値向上を目指して協働する「インベストメント・チェーン」について、また企業の内部と外部のアイデアを組み合わせることで革新的な価値を創り出す「オープン・イノベーション」に焦点を当て、投資家と企業がどのように ESG 問題に取り組み、Win-Win の関係を確立して社会の富の増大に寄与できるか等、様々な角度から議論いたします。(詳細は添付プログラムをご覧ください)

本シンポジウムへの参加は、一般公募をいたします。

(応募者多数の場合は抽選になります)

詳細およびお申し込みはこちらから(外部サイト) ⇒

<http://adnet.nikkei.co.jp/e/event.asp?e=02655>



東京理科大学  
TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

X

**Amundi**  
ASSET MANAGEMENT  
アムンディ アセットマネジメント

東京理科大学総合研究院ものごと双発研究部門/アムンディ・ジャパン スペシャルシンポジウム

## 日本における ESG 投資のこれから

～ インベストメント・チェーンの最適化に向けて変化する投資家と企業 ～

日時：2017年12月1日（金）14:00～18:00（予定）

場所：東京理科大学神楽坂キャンパス イノベーション研究科 PORTA 5F

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 2-6-1

### プログラム（予定）

- 13:30 開場
- 14:00-14:05 シンポジウム開催のご挨拶 東京理科大学 副学長 平川 保博
- 14:05-14:30 講演「日本経済と ESG 投資」 東京理科大学大学院客員教授 ロバート・フェルドマン
- 14:30-14:45 講演「ESG 投資への期待と課題」 東京工業大学教授 井上 光太郎
- 14:45-15:10 講演「オープン・イノベーションの観点から見た ESG」 東京理科大学大学院教授 田中 芳夫
- 15:10-15:55 東京理科大学・アムンディ・ジャパン ESG 投資共同研究結果発表  
「ESG ファクターリターンの推定と ESG パフォーマンスについての研究」  
東京理科大学総合研究院 客員准教授 山下 隆  
「環境経営と株式資本コスト」 東京理科大学経営学部 教授 佐々木隆文  
「環境保全活動が租税負担削減行動に与える影響」  
東京理科大学経営学部 准教授 大沼 宏、講師 島田佳憲
- 休憩
- 16:05-17:55 パネル・ディスカッション  
「投資家が変われば、企業も変わる。ESG 投資を通じたインベストメント・チェーンの最適化」  
モデレーター： アムンディ・ジャパン チーフ・インベストメント・オフィサー 岩永 泰典  
パネリスト： 上智大学特任教授 引間 雅史  
東京理科大学大学院教授 宮永 雅好  
アムンディ・ジャパン ESGリサーチ部長 近江 静子  
アムンディ・ジャパン アクティブ・ジャパン運用部長 藤田 泰介
- 17:55-18:00 閉会挨拶 アムンディ・ジャパン 代表取締役社長 ジュリアン・フォンテーヌ

## アムンディについて

アムンディは、運用資産額で欧州 No.1<sup>\*1</sup>、世界トップ 10<sup>\*1</sup> の資産運用会社の一つです。パイオニア・インベストメンツの買収により、現在、世界 6 都市の主要な運用拠点<sup>\*2</sup>を通じて 170 兆円<sup>\*3</sup>を超える資産を運用しています。アムンディは欧州、アジア・太平洋地域、中東および米国のお客さまに、競争力のある専門的なマーケットの知見と、アクティブ、パッシブおよびリアルアセットなどの投資対象を幅広くカバーするソリューションを提供しています。アムンディはパリに本拠を置き、2015 年 11 月からユーロネクスト・パリ市場に株式上場。資産運用会社の株式時価総額では、欧州 No. 1<sup>\*4</sup>、世界 No. 5<sup>\*4</sup> を誇る資産運用会社です。また、最も重要な海外拠点である日本において、アムンディ・ジャパンは、40 年以上にわたり革新的な運用手法で日本のお客さまに最適な運用ソリューションを提供しています。

- 1 出所：インベストメント・ベンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ400社（2017年6月版、欧州に本拠地を置く運用会社の2016年12月末の運用資産額）に基づく。
- 2 主要運用拠点：ボストン ダブリン ロンドン ミラノ パリ 東京（アルファベット順）
- 3 運用資産額は、2017年6月30日時点でアムンディとパイオニア・インベストメンツの会計基準整合前の合計額。約1兆3,420億ユーロ、1ユーロ=127.97円で換算。
- 4 2017年4月29日時点の発行済株式の時価総額に基づく。

**公式ウェブサイト：amundi.co.jp**

本書に関するお問合せ先：

アムンディ・ジャパン株式会社 広報室

e-mail：[pr@jp.amundi.com](mailto:pr@jp.amundi.com)

直通：03-3593-5700

本資料は、一般・参考情報の提供を目的として、アムンディ・ジャパン株式会社（以下、「弊社」といいます。）が作成した資料であり、特定の金融商品の購入または売却の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。弊社は、本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務（直接的、間接的を問わず）を負うものではありません。弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。